

いしかわ

被災された方々に寄り添って

果老連だより

asunaro

No. 110

March 2025

石川県老人クラブ連合会作品展から



心は能登へ

岡田 静子

小松市



令和
7年度

行事予定

5月	16	市町老連会長・事務局担当者会議	(東京都)
	未定	全老連監事会	(東京都)
	28	理事会	(東京都)
6月	3	監事会	
	5	理事会	
	10	女性委員会	
	18	全老連評議員会	(東京都)
	18	全老連理事会	(東京都)
	20	評議員会	
7月	10	東海・北陸ブロック老人クラブリーダー研修会	(岐阜県)
	11		
	中旬	表彰審査委員会	
	30	都道府県・指定都市老連事務局長会議	(東京都)
8月	下旬	表彰審査委員会	
9月	9	東海・北陸ブロック会長・女性代表者会議	(三重県)
	10		
	12	老人クラブ女性リーダー研修会	
	15	老人の日・老人週間	
	20	社会奉仕の日	
	下旬	ニーススポーツ体験講習会	



石川県老人クラブ大会



グラウンド・ゴルフ大会



老人クラブリーダー研修会

事業概要

◇元氣シニアスタンブラー事業

高齢者が外出するための動機付けを行うことで、引きこもりを防止するとともに、出歩くことによる健康づくりや介護予防を推進し、生きがいを持って元気に生活できるよう支援する。併せて、単位老人クラブや市町老人クラブ連合会の事業への参加を促し、老人クラブへの加入促進を図る。

◇グラウンド・ゴルフ大会開催事業

高齢者の健康増進と社会参加及び生きがいの高揚を図ることを目的として、石川県知事杯グラウンド・ゴルフ大会を開催する。

◇高齢者相互支援推進・啓発事業

元氣な高齢者が支援を必要とする高齢者に対して、話し相手を基本とする地域支え合い活動を推進するとともに、本事業の啓発を行い、老人福祉の向上に資する。

◇地域社会活動推進支援事業

地域見守り活動、交通安全運動及び世代間交流等、安全安心の地域づくりにくたはならない老人クラブ活動を支援するため、市町老人クラブ連合会に対し助成する。

◇被災地支援及び震災復興関連事業

令和6年能登半島地震により甚大な被害を受けた高齢者に対する支援活動をおこなうとともに、被災地の老人クラブが元の姿で活動できるように市町老人クラブ連合会や単位老人クラブを支援する。

◇全国一斉「社会奉仕の日」の活動

高齢者に対する国民の理解・協力に感謝し、老人週間に併せて全国一斉「社会奉仕の日」（9月20日）を定め、環境美化活動等の一斉実施を推奨する。

◇老人クラブリーダー研修会開催事業

県老人クラブ連合会及び市町老人クラブ連合会において、老人クラブリーダー及び将来の候補者を対象に、リーダーとしての資質向上を図るため、研修会等を開催する。

10月

7 第23回県知事杯グラウンド・ゴルフ大会
(予備日15日)

18～21 第37回全国健康福祉祭さぶ大会
(第34回「地域文化伝承館」)(岐阜県)

11月

5～6 第54回全国老人クラブ大会(茨城県)

11 第64回石川県老人クラブ大会
作品展

12月

1～2 高齢者の健康づくり・生活支援セミナー
(東京都)

未定 がんばる老人クラブ知事表彰式
(東京都)

1月

中旬 市町老連会長・事務局担当者会議

2月

4～5 都道府県・指定都市老連代表者会議
(東京都)

12～13 東海・北陸ブロック事務局長会議
(名古屋市中)

3月

上旬 理事会

12 全老連理事会
(東京都)

12 全老連評議員会
(東京都)

中旬 評議員への事業等説明会

下旬 女性委員会

令和7年度



作品展

県老連ホームページ

いろいろな情報が掲載されています。
どうぞご利用ください。



<http://www.asunaroclub.jp/>

◇がんばる老人クラブ育成支援事業

高齢者の知識や経験を生かし、意欲的に社会貢献活動を行っている老人クラブを顕彰するとともに、これらのクラブの活動事例集を作成し、紹介することにより、老人クラブ活動の活性化を図る。

◇老人クラブ連合会作品展開催事業

高齢者が制作した作品を展示するとともに、ユニークな活動を実施している老人クラブを紹介し、クラブ活動の活性化と文化活動の促進、生きがいの高揚を図ることを目的として作品展を開催する。

◇老人クラブ大会開催事業

健康寿命をのばし、自立した生きがいのある生活を実現するため、老人クラブの発展と高齢福祉の向上を期して、石川県老人クラブ大会を開催する。

◇老人クラブ育成研修会事業

老人クラブリーダーとしての役割や知識の習得を目的に研修会や大会等へ参加する。

◇女性委員会活動推進事業

女性委員会活動の推進を通じて、組織の充実を図り、女性リーダーの意識向上と活動の活性化、新規会員の加入促進を図る。また、令和6年能登半島地震被災地支援の取り組みとして、女性目線で被災者の気持ちに寄り添った支援活動をおこなう。

◇広報事業

機関紙「県老連だより」を発行し、老人クラブ活動の情報提供に努めるとともにホームページ等を活用して、本会の活動内容、老人クラブの役割等の周知を図る。

また、単位老人クラブや地区老人クラブ連合会の活動を地域に広く知ってもらうため、広報誌の作成を支援し、会員の加入促進につなげる。

私たちは災害にどう備えているか、備えるか



老人クラブ活動検討会 令和7年3月25日 輪島市河井町 輪島市社会福祉協議会にて

参加者 全老連 中村美津子副会長、松岡時子副会長、菅尾裕子政策委員会幹事、松島紀由常務理事
河野敦子参事、本山秀治兵庫県老連事務局長（中村副会長随行）
石川県老連 須野原雄会長、山崎一郎事務局長 澤本久相談アドバイザー
輪島市老連 棚田一三会長、今牛陽子女性委員長、田中昭二事務局長

活動検討会

1日目（3月24日 月曜日）

◎活動検討会（石川県社会福祉会館）

報告

「地震後の石川県老連の取り組み」

石川県老連山崎事務局長

意見交換

「私たちは災害にどう備えているか、備えるか」

2日目（3月25日 火曜日）

◎活動検討会（輪島市社会福祉協議会）

報告

「輪島市老連リーダーにうかがう」

輪島市老連棚田会長、今牛女性委員長、

田中事務局長

参加者による懇談

本年の活動検討会では、大規模災害への備えとともに、老人クラブ活動を通じた地域社会の維持・再建について、輪島市老連のリーダーの方々に体験を通じて感じた課題等について語っていただき、今後の老人クラブ活動に資するために開催しました。

1日目、石川県社会福祉会館で行われた活動検討会では、山崎事務局長が地震後の石川県老連の取り組みを説明しました。その後、課題である「私たちは災害にどう備えているか、備えるか」について参加者全員で意見交換をしました。

2日目、輪島市社協で行われた活動検討会では、輪島市老連の田中昭二事務局長から、高齢化と人口減少が進む現状の説明がありました。地震後、市内69の老人クラブのうち23クラブが活

動を休止し、残る46クラブの会員数も約3分の2に減ったと報告がありました。今後、仮設住宅に人が少なくなってきた時、行き場のない人を孤独にさせないことが大切で正念場となるとも話されました。

阪神・淡路大震災を経験された全老連中村美津子副会長（兵庫県老連会長）は「最初はしんどいが、二年過ぎたくらいから、また行事をしようかと思えました。輪島の人々は皆前向きだから、必ず復興できると感じました」と話されました。

老人クラブ活動検討会を金沢市、輪島市で
テーマ：被災地における老人クラブ活動とその支援について
——被災地の地域社会再建に向けての課題——

令和6年 能登半島地震の被害

2024年1月1日午後4時10分、能登地方で発生した最大震度7の地震は、奥能登を中心に甚大かつ広範囲な被害を及ぼしました。

データで知る能登半島地震

M7.6
最大震度7

死者 うち市街 270人
498人

行方不明者 **2人**

負傷者 重傷390人 軽傷876人
1,266人

住家被害 全壊・半壊一部破損・床上浸水・床下浸水
106,137棟

避難者 最大 **34,173人**
令和6年1月1日時点 27人

停電 最大 **39,900戸**
令和6年1月7日時点 復旧済

携帯支障 最大 **70~80%**
令和6年1月1日時点 1%未満

断水 最大 **110,000戸**
令和6年1月1日時点 断水解消

立入が困難な一部の地区を除き、応急復旧が完了した地区は、主入居者数に基づいては、避難者発生後3日以内に応急復旧完了

※建物倒壊や土砂崩れ、電気水道などにより早期復旧が困難な地区を除く

平成19年能登半島地震の被害

●地震規模——M6.9 (最大震度6強)
●死者——1人
●負傷者——338人
●住家被害——29,382棟

輪島市 最大震度7
人口——21,903人
世帯数——9,235世帯
●死者——181人 (災害関連死80人)
●負傷者——516人
●住家被害——10,540棟

志賀町 最大震度7
人口——17,239人
世帯数——7,296世帯
●死者——19人 (災害関連死12人)
●負傷者——116人
●住家被害——7,460棟

金沢~能登間の道路通行状況

▲=道路に大きな被害



珠洲市 最大震度6強
人口——11,721人
世帯数——5,283世帯
●死者——151人 (災害関連死54人)
●負傷者——249人
●住家被害——5,575棟

能登町 最大震度6強
人口——14,277人
世帯数——6,206世帯
●死者——51人 (災害関連死40人)
●負傷者——54人
●住家被害——5,754棟

七尾市 最大震度6強
人口——47,198人
世帯数——20,075世帯
●死者——42人 (災害関連死32人)
●負傷者——37人
●住家被害——16,492棟

石川県ホームページより



輪島市内の被害状況を視察

市町老連別の老人クラブ数・会員数の推移

市町老連名	項 目	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 元旦地震発生	R6年-R5年 地震後の増減	地震後の 増減率
金 沢 市	クラブ数	280	274	273	267	260	250	243	▲ 7	▲ 2.8
	会 員 数	21,764	21,165	21,255	20,525	19,709	19,193	18,675	▲ 518	▲ 2.7
七 尾 市	クラブ数	89	89	88	84	81	76	68	▲ 8	▲ 10.5
	会 員 数	4,489	4,429	4,298	3,880	3,597	3,246	2,840	▲ 406	▲ 12.5
小 松 市	クラブ数	220	220	220	216	212	202	197	▲ 5	▲ 2.5
	会 員 数	16,508	16,352	16,292	15,838	15,176	14,810	14,467	▲ 343	▲ 2.3
輪 島 市	クラブ数	82	80	77	74	71	69	46	▲ 23	▲ 33.3
	会 員 数	2,803	2,719	2,609	2,525	2,416	2,340	1,046	▲ 1,294	▲ 55.3
珠 洲 市	クラブ数	21	22	22	22	21	21	12	▲ 9	▲ 42.9
	会 員 数	1,355	1,365	1,315	1,275	1,147	1,095	505	▲ 590	▲ 53.9
加 賀 市	クラブ数	74	75	75	67	66	61	61	0	0.0
	会 員 数	6,064	6,008	5,857	4,917	4,581	4,084	3,948	▲ 136	▲ 3.3
羽 咋 市	クラブ数	47	48	46	47	47	44	41	▲ 3	▲ 6.8
	会 員 数	2,962	2,842	2,687	2,540	2,340	2,115	1,847	▲ 268	▲ 12.7
か ほ く 市	クラブ数	69	70	70	70	71	73	73	0	0.0
	会 員 数	7,399	7,235	7,031	6,759	6,542	6,126	6,135	9	0.1
白 山 市	クラブ数	134	133	131	131	128	127	128	1	0.8
	会 員 数	8,682	8,447	8,147	7,826	7,476	7,231	7,168	▲ 63	▲ 0.9
能 美 市	クラブ数	118	118	113	113	112	113	113	0	0.0
	会 員 数	7,122	6,982	6,800	6,866	6,726	6,651	6,543	▲ 108	▲ 1.6
野々市市	クラブ数	4	4	4	4	4	4	4	0	0.0
	会 員 数	955	948	902	883	819	819	810	▲ 9	▲ 1.1
川 北 町	クラブ数	18	18	18	17	17	17	17	0	0.0
	会 員 数	1,462	1,479	1,495	1,450	1,441	1,441	1,395	▲ 46	▲ 3.2
津 幡 町	クラブ数	26	26	26	26	26	26	26	0	0.0
	会 員 数	4,122	4,065	3,898	3,721	3,641	3,485	3,339	▲ 146	▲ 4.2
内 灘 町	クラブ数	16	16	16	16	16	16	16	0	0.0
	会 員 数	1,628	1,606	1,557	1,500	1,430	1,418	1,353	▲ 65	▲ 4.6
志 賀 町	クラブ数	39	40	38	39	38	39	38	▲ 1	▲ 2.6
	会 員 数	3,276	3,190	2,981	2,859	2,658	2,595	2,399	▲ 196	▲ 7.6
宝達志水町	クラブ数	39	38	38	38	37	34	34	0	0.0
	会 員 数	3,567	3,564	3,537	3,408	3,278	2,832	2,798	▲ 34	▲ 1.2
中能登町	クラブ数	47	47	47	47	47	46	44	▲ 2	▲ 4.3
	会 員 数	4,228	4,110	4,023	3,871	3,735	3,453	3,181	▲ 272	▲ 7.9
穴 水 町	クラブ数	19	20	20	20	20	19	16	▲ 3	▲ 15.8
	会 員 数	1,247	1,220	1,143	1,097	1,058	987	746	▲ 241	▲ 24.4
能 登 町	クラブ数	29	30	29	29	29	29	26	▲ 3	▲ 10.3
	会 員 数	1,571	1,553	1,504	1,432	1,372	1,318	1,148	▲ 170	▲ 12.9
合 計 (県老連)	クラブ数	1,371	1,368	1,351	1,327	1,303	1,266	1,203	▲ 63	▲ 5.0
	会 員 数	101,204	99,279	97,331	93,172	89,142	85,239	80,343	▲ 4,896	▲ 5.7

(各年4月1日現在 県老連加入数)

地震後の取り組み

1～5月 被災市町老連訪問、聞き取り（1月／4～5月）
「老人クラブの灯を消すな—
お悩み相談ダイヤル」の開始（1月～）
避難所でリフレッシュのお誘い
（白山市老連／2月～／4回開催）

6月 全老連村木会長輪島市老連訪問
女性委員会で「応援メッセージうちわ」を作製

7月 東海・北陸ブロック研修会において、三重
県老連と石川県老連の広域避難でお世話に
なった会員との交流
「応援メッセージうちわ」と「冷却ネックリ
ング」（各100個）を輪島市老連に寄贈

8月 石川県立美術館主催「まるごと奈良博」に
被災者を招待

9月 女性リーダー研修会
・地震で被災された珠洲市老連刀祢春子さん
講演
「皆さんに伝えたいこと～地震の際の心得」
・石川県川柳協会副会長浜木氏の指導で
被災地の能登に思いを寄せた川柳を作句
女性委員会で「毛糸編みの帽子等」を作製

10月 能登半島地震支援グラウンド・ゴルフ交流
大会
能登の被災地からも大勢参加

11月 第63回石川県老人クラブ大会
被災老連に「毛糸編みの帽子等」（620個）を
寄贈
健康麻雀大会
県老連「作品展」で女性委員会で作った
川柳を展示

R7.1月 市町老連会長・事務局担当者会議
「能登半島地震後の老人クラブの在り方を
考える会」

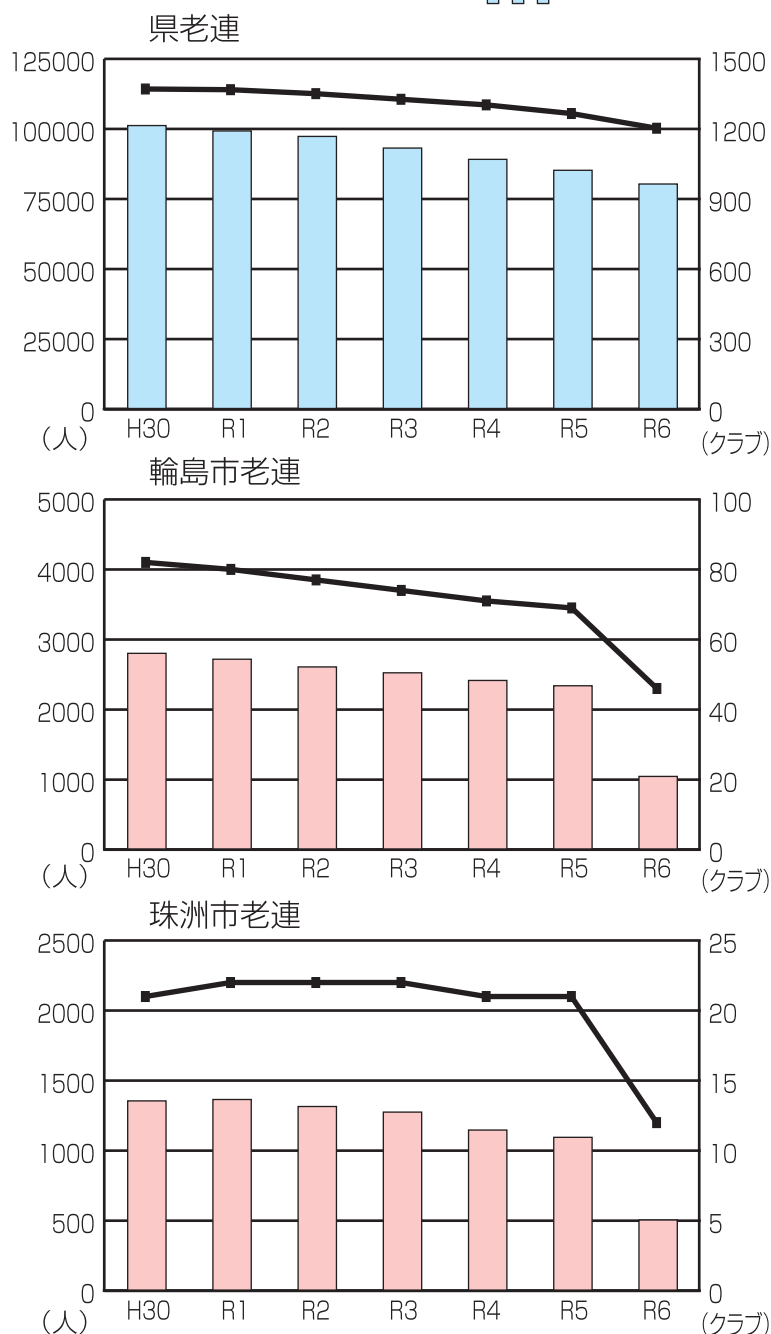
2月 兵庫県老連から寄贈頂いた「元気袋」（900個）
を被災地に届ける

3月 老人クラブ活動検討会（金沢市、輪島市）



市町老連会長・事務局担当者会議

— クラブ数
■ 会員数



県内老人クラブの現状

能登半島地震で被害が甚大だった、輪島市、珠洲市の会員数は前年と比較して、半数以下となり、クラブ数も輪島市が33%、珠洲市が43%も減少しました。七尾市、志賀町、穴水町、能登町でも会員数が大幅減となっています。

震災から、1年が経過しても、未だに多数の会員が、仮設住宅に入居し、また、県外に避難しています。

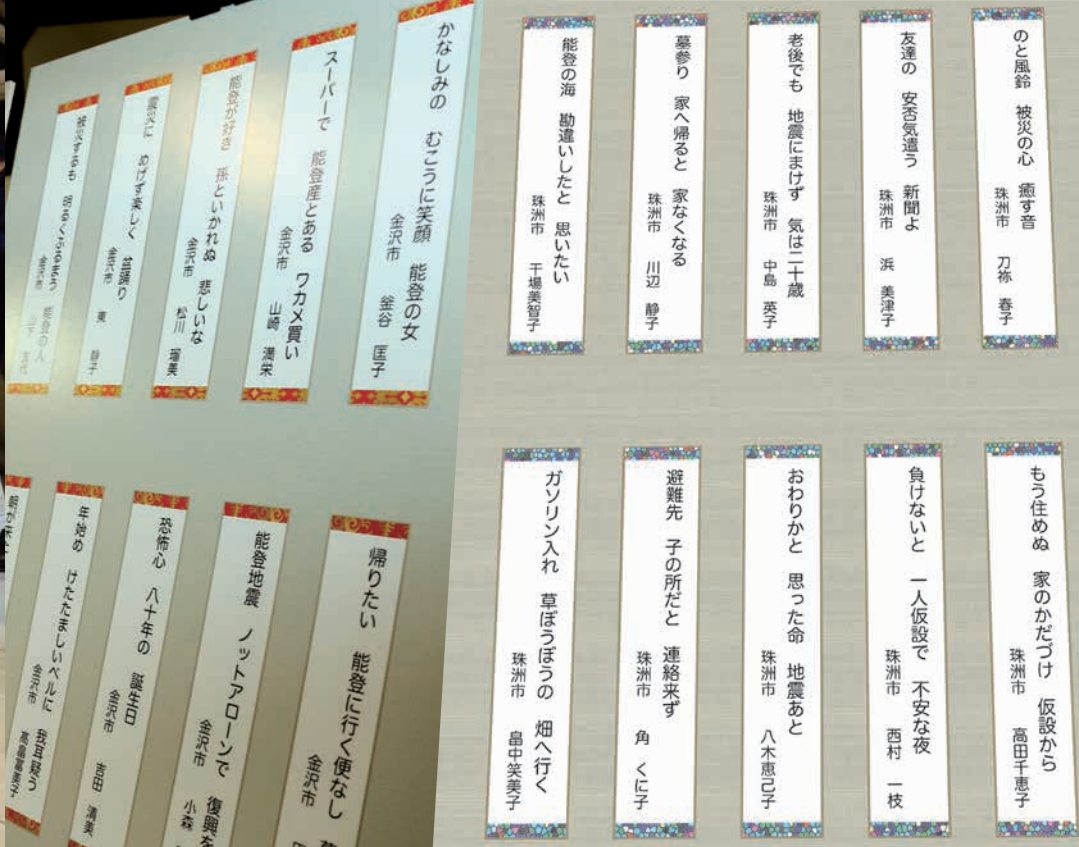
今後も、被災された方々に寄り添った活動をより重点的に行っていくかなければなりません。



作品展

工房

て作りました。





令和6年度 石川県老人クラブ連合会 — 能登へ思いを寄せて —

令和6年11月26日～28日 金沢市民芸術村 アート

絵画 (21点)、書 (10点)、写真 (10点)、手工芸 (33点) 計74点
川柳 (109句) 9月11日の女性リーダー研修会で、能登に思いを寄せ



令和6年度

石川県老人クラブリーダー研修会

令和6年

12月11日

石川県地場産業振興センター

127人参加

老人クラブリーダー及び将来の候補者を対象に、リーダーとしての資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

開会あいさつ後、須野原会長の講話、「どん尻クラブからの変身」と題した講習をパネルディスカッション形式で行いました。

休憩をはさんで、金沢西病院院長 菊地勤氏を講師に迎えて「地域で支える在宅医療」と題したご講演をいただきました。

講話

つれづれに思うこと — 未来にバトンを —

石川県老人クラブ連合会

会長 須野原 雄

《講話から一部抜粋》

老人の意義は、「豊かな地域社会、日本の文化、そして平和な世界を次の世代に引き継いでいくこと」にあるのではなからうか、そんな思いが重なりまして、次のような「三つのバトン」を未来に渡していかなければならない」と思ったところであります。



須野原 雄 会長

一つ目のバトン

未来は幸せに齢を重ねていく幸齢者に、そして幸齢社会に

県老連としましては、老人クラブ活動を通じて、平均寿命から健康寿命、さらに幸福寿命を延ばして、名実ともに、未来が幸せに齢を重ねていく幸齢者・幸齢社会になっていくようバトンをつないでいきたいと思うところであります。また、そのためには、「人生百年時代の持続可能な老人クラブ」でなければならないということでもあります。

二つ目のバトン

「日本の文化」を未来に

我々の世代は、戦前・戦中・戦後生まれで、そうした時代を生き、肌で感じてきたところであります。だからこそ、「日本の文化」を未来につなぎ、そして、感動詞の時代にふさわしい生き方・老い方をしていかなければと思うところであります。

三つ目のバトン

未来に平和を

日本は憲法で戦争を放棄しています。ですから、金沢市にあつては、国連機関のあるスイスのジュネーブのような世界平和都市であり、石川県にあつては、世界遺産の地として、そして、日本にあつては、名実ともにスイスのような永世中立国として率先して、未来に平和というバトンをつないでいってほしいと思うところであります。

詩吟

能登を思つて 七尾城

白山市老連

会長 斎藤

貞明氏



講演

地域で支える 在宅医療

医療法人社団博友会理事長

金沢西病院 院長 菊地 勤氏

冒頭「在宅医療、意思決定をキーワードにして、お話を進めて行きたいと思います。」と述べられ、人口、高齢化、疾病等の現状をわかりやすく説明され、最後にキーワードについて以下のように話され講演を終えられました。

「私たちは人生の最後をどこで迎えるか、終末期にはどのような医療を受けるか等について選択することになります。その意思決定は本人の意思を一番に尊重しなければなりません、本人に意思決定が出来ない場合、家族、医師、医療スタッフ等で、本人にとって最良の方法を選択することになります。」



菊地 勤氏

講習

「どん尻クラブからの変身」

—会報は地域の絆・会員増との二刀流—

県老連相談アドバイザー
澤本 久氏

金沢市藤江健寿会事務局担当
久氏



県老連
山崎 一郎 事務局長

藤江健寿会事務局担当
澤本 久氏

野々市市
本町百働会会長
徳野三知應氏

門前で被災して藤江に避難中の
山崎ご夫妻

藤江健寿会
最年少会員
端 靖子氏

本日司会を担当させていただく山崎です。澤本氏に、私が質問して答えてもらう形です。藤江健寿会の大きな力になっていいると思いますので、県老連でも、これから、単位クラブ等の広報発行にお力をお貸ししたいと考えております。
(山崎事務局長)

私は平成二十九年、六十五歳で藤江健寿会に加入しました。
平成三十年四月の会員数百一名から令和五年四月には百五十一名に増えました。会員の構成内容も六十歳代が増加しました。増えたポイントは老人会活動の「見える化」を町会役員・町内の人たちに行ったことにあると思われます。具体的には、以下の通りです。
◎町を愛し活動する「奉仕活動の見える化」
◎広報誌で老人会活動を広く宣伝・周知
◎高齢者の弱点・情報格差をなくす取り組み
◎町に必要・年寄りの味方の老人会だと思われるように活動
(澤本氏)

私が百働会だよりを発行するきっかけとなったのは、老人会への加入を呼びかける時、行事や活動内容を知ってもらうためでした。それが好評で、今は毎月発行しています。
(徳野氏)

家の前の公園を清掃する老人会の人たちと、いっしょに、草むしりをしたことがきっかけで、入会を決めました。
(端氏)

お年寄も元気になる
地域も元気になる会報は
絆でみんなを結びつける
毎月の伝書鳩ですね！

(澤本氏)

金沢市「藤江健寿会」 石川さんパレット (石川テレビ: R7.2.26放送) で紹介される

会員数が5年間で約2倍になった
その裏にはどんな秘密があったの？

その秘密はユーチューブで視聴できますよ！

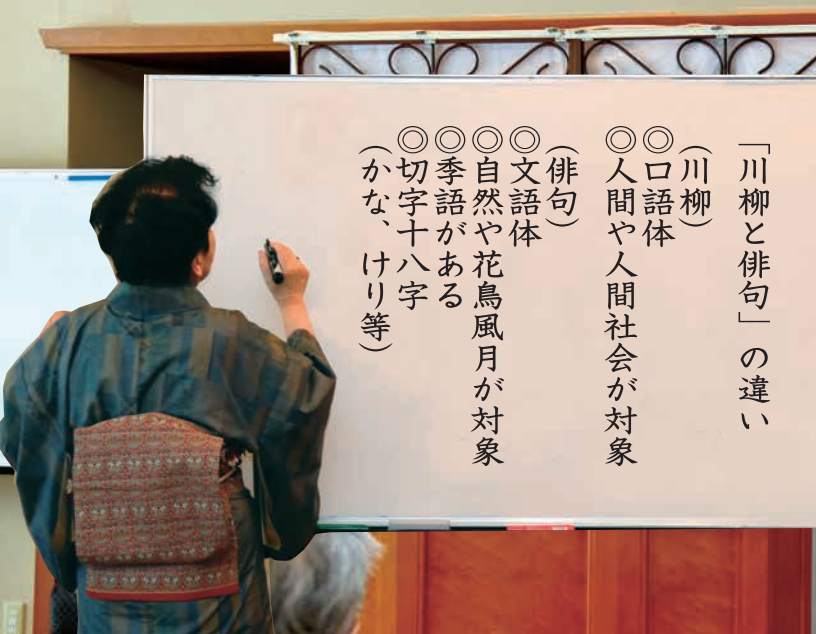
広報誌の毎月の
発行で、老人会のことが
わかってもらえて、
会員が増えました。

(澤本氏)

澤本さんの文章を
毎回、校閲して、
読みやすくしています。

(前川氏、岡部氏)





「川柳と俳句」の違い

(川柳)

- ◎口語体
- ◎人間や人間社会が対象

(俳句)

- ◎文語体
- ◎自然や花鳥風月が対象
- ◎季語がある
- ◎切字十八字
- (かな、けり等)



演題「楽しく始める川柳」

講師 石川県川柳協会
副会長 浜木文代氏

川柳講習会を開催してみませんか？

川柳にはたくさんの魅力があります。

- ・言葉を使い、発想力を鍛えることで脳を活性化！
認知症対策にも効果があると言われています。
- ・発想力や記憶力を刺激して、毎日を元気に！
ひらめきを大切にする川柳は、楽しい脳トレになります。
- ・仲間とみんなで川柳を作りながら、笑い合い、
学び合う時間を共有できます！

皆さまのクラブ活動に『川柳』を取り入れて
みませんか？

県老連でも支援を行っています。
まずは、お気軽にご連絡ください。



【お問い合わせ】

石川県老人クラブ連合会 事務局

川柳講習会開催

能登半島地震被災地支援事業
の一環として、講師に石川県川
柳協会副会長浜木文代氏をお招
きし、川柳講習会を県内各地で
開催しました。

浜木氏は、地元の川柳家達の
作品の紹介、川柳と俳句の違い
や実際に作句にあたって知って
おかなければならないことを例
を交えて、わかりやすく説明さ
れました。

その後、参加者は日頃の出来
事や思いを込めて、頭をひねり
ながら川柳に挑戦しました。



羽咋市老連 (R6.12.2)



志賀町老連 (R7.2.13)



白山市老連 (R6.12.7)

第53回 全国老人クラブ大会

令和6年11月20日(水)・21日(木)
神奈川県横浜市「神奈川県民ホール」



石川県関係受賞者

全国老人クラブ連合会会長表彰
育成功労表彰

小松市老人クラブ連合会理事

神田 淳一氏

元 小松市老人クラブ連合会副会長

竹本 亮二氏

女性リーダー育成功労表彰

前 石川県老人クラブ連合会女性委員

大門 ノブ子氏

優良老人クラブ連合会表彰

金沢市 米丸米寿会連合会

神奈川県横浜市「神奈川県民ホール」において第53回全国老人クラブ大会が開催されました。石川県からは、12名が参加しました。

1日目の活動発表は、「活動の仲間と取り組む老人クラブ活動」がテーマで、地元神奈川県2クラブと奈良県の1クラブが発表しました。発表に続いて、コーディネーターの神奈川大学齊藤ゆか教授とのパネルディスカッションが行われました。

2日目の式典では、あいさつの中で、村木厚子全老連会長は、能登半島地震災害救援拠金について説明され、また、被災地である能登を訪ねられた折り、「能登の皆さんは、被災に負けずに地域で頑張っておられました。」と話されました。

その後、全老連会長表彰が行われ、2日間の大회가幕を閉じました。

第28回 がんばる老人クラブ知事表彰

令和6年11月11日(月) 石川県庁行政庁舎

毎年、意欲的に社会貢献活動を行っている老人クラブを表彰する「がんばる老人クラブ知事表彰式」が行われました。

表彰授与式の後、知事と各クラブ代表者による地域貢献活動の報告を交えた懇談会が行われました。

なお、受賞クラブについては活動事例集を作成し、各老人クラブに配付いたしますので、今後の活動にご活用ください。



がんばる老人クラブ受賞おめでとうございます

【小松市】月津シニアクラブ

【羽咋市】釜屋町喜楽会

【志賀町】下甘田老人クラブ



令和6年度 ニュースポーツ体験講習会

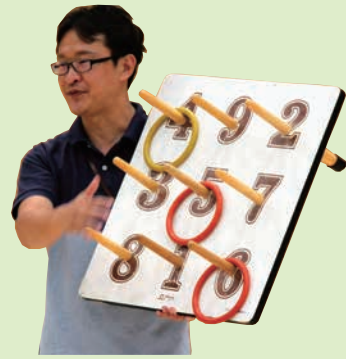
令和6年10月23日(水) 13:30～16:00

かほく市総合体育館

◆公式ワナゲは、これまでお遊びであった輪投げをスポーツとして競技化したものです。
縦・横・斜めのいずれか1列に輪が入ると得点が増える独特のルールがあります。
単に輪を投げるだけでなく、次はどこに投げればよいか、考えて投げる、体も頭も使うスポーツです。

◆トリコロキューブは、柔軟かなウレタン製のサイコロを得点マット目掛けて投げ、得点を競うゲームです。
サイコロの不規則な動きと止まる場所にドキドキワクワクする、思わず笑い、歓声上がるゲームです。

クラブを
盛り上げる
ニュースポーツ
の活用



講師：特定非営利活動法人
フレンドリー情報センター
理事/指導員 西尾 和久 氏

公式ワナゲ



トリコロキューブ



令和7年2月18日

石川県老人クラブ連合会
会長 須野原 雄 様

兵庫県老人クラブ連合会
会長 中 村 美 津 子

能登半島地震・豪雨被災者の皆様への“元気袋”と自筆メッセージの送付について

貴連合会におかれましては、平素から、会員の健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりにご精励の由、お喜び申し上げます。

さて、忘れもしない昨年年頭の能登半島地震災害では、大変な被害に遭われたばかりではなく、続く9月の「奥能登豪雨」により、会員の皆様には、今なお、不便な生活を強いられておられると推察申し上げます。ここに、心からのお見舞いを申し上げます。

近年、全国的に、地震・台風・大雨等の自然災害が多発し、各地で、同じ老人クラブ会員の皆様が被災されているところですが、貴県の被災は、地震に加えて大雨の被害により復興への道のりが、さらに長期化するのではと深く危惧致しております。

そこで、全国社会福祉協議会様のご指導の下、このたび、本県老連から、被災地の皆様に「元気袋」と自筆メッセージを送付させていただくことと致しました。

折しも、本年1月は、阪神・淡路大震災から30年の節目となる時期でございます。

あの震災において、全国の老人クラブの皆様から頂戴致しました心温まるご支援・ご激励は、私たち被災者にとりまして、何よりも『心強い励まし』であり、『希望の灯』そのものでございました。

つきましては、何卒、私達の真意をお汲み取りいただきたく、元気袋をお受け取りいただきたく、お願い申し上げます。

兵庫県老人クラブ連合会から温かいお便りと「元気袋」900個を頂きました。手作りの元気袋の中は、災害時に役立つ色々な品物が沢山入っていて、温かな励ましの自筆メッセージも添えられていました。さっそく、被災

された方々に手渡しでお届けしました。頂いた方からは、「励ましの温かい心を感じて、うれしかった」という声が聞かれました。兵庫県老人クラブの皆さま誠にありがとうございました。



被災された皆様へ、いつも一緒です！
正月の地震に加え、9月の大雨の被災、い
からお見舞い申し上げます。お力はな
下さい。お力一杯お役に立てたので
心ばかりの品ですが、お届け
致します。
兵庫県 三木市老人クラブ (村上 勝子)



七尾市の仮設住宅の方々に



金沢市へ避難された方々に

